富士山の麓を国際都市に！
富士市議会議員　Izumi Yamashita's Activities

山下いづみ活動レポート

2020年春号
Vol.19

２０２０年が皆様にとりまして、幸多き年となりますように

昨年、富士市で初めて国際平和デーを祝う事業が行われました。当日は市役所屋上ふじさんてらすMierulaにて、市長と児童たちが平和について語り、平和への願いをこめて平和の鐘を鳴らしました。子どもたちから平和について「仲良く暮らすこと」「みんなが楽しく暮らすこと」など元気な意見がでました。市長をはじめ、まわりの大人たちも一緒に考え、行動したことは、子どもたちにとって、よいお手本となったのではないでしょうか。

国際平和デーは国連が定めた平和の記念日です。すべての国、すべての人々にとって共通の理想である国際平和を記念、推進していく日。参加した子どもたちがそうであったように、身近な友達や家族に心を寄せてその思いが、どんどん繋がっていけば良いなと感じました。

世界の40カ国以上の子どもたちが国際平和デーに参加をしています。身近な人たちや物、自然を大切にしながら、知らない遠い人たちや物事にも思いを馳せる大きな心と視野をもって成長してほしいと思いました。日本一の富士山の麓、世界中の人たちが憧れる富士山の麓富士市から、これからも国際平和を発信していきましょう。

今年1年も、しっかりと職務を果たして参ります。ご指導、ご協力の程、お願い申し上げます。

山下　いづみ

山下いづみ一般質問

2019年2月定例会 （3/8）

■登下校時における児童生徒等の安全確保について　安全・一人区間

背景：登下校時のつきまとい、わいせつ、声かけなど起きており、安全確保の強化が求められる。

提言：登下校時の安全対策を見直し、青色回転灯装着の公用車のパトロールの回数を増やす。安全マップの更新、一人区間のながらボランティアの推進、「あぶトレ」などの防犯講座を増やすこと。登下校時、通学路等における児童生徒等の安全確保に関する指針を作成し、安全確保の方策を示す。見守りの人的ネットワークに加えてICT活用の研究を。

回答：防犯パトロールを行っている。富士警察署地域安全推進員や防犯ボランティアの方々の見守り活動支援をしている。ながら見守り等について情報発信をしている。防犯交通安全だよりやチラシの中に具体的な安全確保の方策を掲載していく。

2019年6月定例会 （7/1）

■保育事業所周辺の道路と公園整備について　保育事業所・安全・環境

背景：様々な形態の保育事業所があり、公園等を野外遊戯場とするところもある。また、屋外で遊ぶことや、散歩をすることは園児の成長に欠かせない。

提言：すべての事業所（市の管轄以外の市内の事業所を含む）の散歩コースの把握とききとり点検と危険箇所は早急に対応を。公園管理は様々な団体の協力を得て遊休化にならないように。

回答：市管轄の各施設の点検をした。改善要望を受けているところもある。対応をしていく。代替遊戯場として使用されている公園はより一層安全衛生管理に配慮をしていく。

■避難行動要支援者の避難行動支援について　要支援者・緊急支援情報キット

背景：高齢者や障害者など、自力で避難することが困難な人たちがいる。
また、外国人、親子などにも必要な情報やサポートが必要。日頃より避難支援体制を整えていくことが肝要。

提言：中高生も避難訓練で活動できるように。緊急支援情報キットの普及と利用の工夫を。避難行動要支援者支援計画を実効性のあるものにすること。

回答：支援者への説明、研修と、地域防災訓練においても、要支援者の避難行動支援について理解を深め、キットを活用した要支援者への支援の有用性を理解していただく。地域団体に協力を依頼する。

（写真・緊急支援情報キット）

2019年9月定例会 （10/7）

■富士の戦争史跡を後世に残すことについて　戦争史跡・洞穴

背景：戦後生まれが8割となり、戦争体験者はわずか。戦争の記憶を伝える人たちも少なくなってきた。

（写真・岩本燃料庫の洞穴）

提言：戦争史跡の場所に看板の設置。岩本にある燃料庫の洞穴の調査。富士市の戦争史跡ガイドブックの作成。

回答：戦争史跡によっては、わかりづらいものがある。個々の状況を確認し、地権者の意向をきき、看板を設置していく。戦争史跡をデータベース化し、ガイドマップの製作も検討する。

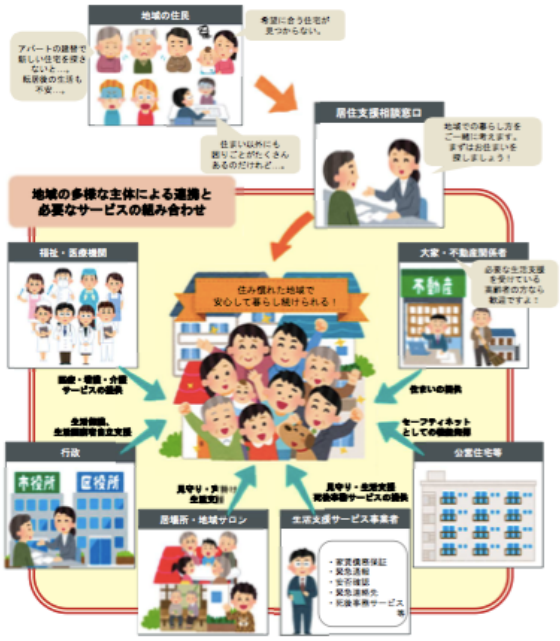
■成年後見制度利用促進に向けて　人権擁護

背景：認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない人たちの個人権利擁護を担う成年後見制度が十分に利用されていない。また、2025年の団塊世代が75歳以上を迎えるとき、需要は増加する見込。

提言：首長申し立て数の増、成年後見支援センター等の連携を深めるためにも、担当職員の増員をすること。社会福祉士の活動しやすい環境をつくること。今後設置される中核機関には行政職員と協力団体の双方を置くこと。

回答：成年後見制度利用促進計画を策定中。社会全体で、制度と後見人活動への理解を深めていただくよう、普及・啓発に努める。

山下いづみ一般質問



居住支援の図
居住支援をはじめる・つなぐ・ひろげるBOOK
～平成29年度関東地方整備局・関東信越厚生局の取組を通して～パンフレットから抜粋

2019年11月定例会 （12/11）

■住宅弱者への居住支援について　住宅セーフティネット

背景：高齢者、障害者、子育て世帯、外国人等、住宅の確保に配慮が必要な「住宅確保要配慮者」の増加が見込まれている一方で、民間の空き家、空室が増加している。

提言：富士市に居住支援協議会を設けて、新たな住宅セーフティネット制度を推進すること。市内の不動産関係者、福祉団体へ周知をしっかりすること。

回答：まだ、住宅と福祉関連部署と連携がとれていない。十分な回答はなかった。

■性の健康教育について　性被害・予防教育

背景：性暴力が、就労の場、デート、家庭と、公共あるいは私的な場で起きている。性暴力は許さないといった社会風土を作る必要がある。

提言：予防教育として、幼児から高校まで発達段階に合わせた性の健康教育を行うこと。親や大人にも展開すること。男女共同参画学級で開催されている「ぼくとわたしの体のふしぎ～知っているようで知らない性のはなし～」を地域、学校で同様のセミナーを実施していくこと。

回答：セミナーを関係各課の職員が学び、性被害の予防を視点に地域事業で開催できるように努めていく。

富士市あれこれ

■ユニバーサル就労推進事業～近況

■富士市が実施しているユニバーサル就労の取組が内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞しました。（令和元年12月26日）

■ユニバーサル就労推進も3年がたち、さらに充実した支援を行うために「相談支援」と「就労支援」の2つを柱にして支援強化をはかります。ユニバーサル就労の充実は企業の理解、協力があってこそです。（認定協力企業130社　令和元年12月4日現在）説明会にご参加いただけますと、有難いです。

■2020年度から「キャリア教育支援」事業はユニバーサル就労の管轄ではなく、中小企業振興の役割も踏まえて経済産業部が主となります。私見としてこれからは、キャリアアップを望む人、個人のスキルを生かしたい人たちの発想や意思を聞き、企業に取り入れられていくことも重要になってくると思います。これから学校連携のキャリア教育事業に加えて、様々な年齢の方々に「キャリア教育支援」を展開していくことが富士市の企業発展に大きく寄与すると思います。企業の新たな発想も期待大です。

＊ユニバーサル就労とは
様々な理由で働きたくても働くことができない状態にある方を対象に、その方にあったさまざまな就労支援を行います。市議会議員発議による全国で初めての「富士市ユニバーサル就労の推進に関する条例」が施行され（H29.4）、市民の誰もが生きがいを持ち、働くことができる仕組みづくりとしてスタートしました。行政としてユニバーサル就労の取り組みも、富士市が全国初です。

■議会生中継と録画～Macにも対応に

本会議の模様を生中継と録画配信でごらんいただくことができます。今までWindowsに対応していましたが、Mac、iPhoneでの閲覧も可能です。

■議会報告～各所管委員会で

2019年度の議会報告会は4つの委員会にわかれて開かれました。内容も「小中学校の適正配置」「水道配水管の更新事業」「富士市の資源を生かした環境行政」そして、私の担当総務市民委員会は「まちづくりセンターの指定管理者制度」でした。ワークショップも取り入れました。

活動アルバム２０１９

3期目当選！応援ありがとうございます！

岳南排水路経路幹線視察

富士市の女性議員全7名が集合し、シンポジュウム

女性に対するあらゆる暴力を無くす運動街頭啓発

御殿場市虎の門子どもセンター視察

防災「やさしい日本語」ブースにてボランティア

総務市民委員会でコミュニティセンターとRPA実証実験について視察

富士山かぐや姫ミュージアムで「お地蔵さま」を上和田子安地蔵尊の御詠歌の皆さんと鑑賞

日本茶アドバイザーとして、T-1グランプリや北斎サミットにて呈茶

2019年度　議会

- 総務市民委員会副委員長
- ユニバーサル就労特別委員会副委員長
- 企業会計決算委員会委員
- 岳南排水路管理組合議会議員

その他

- 富士市国際交流ラウンジ運営協議会副会長
- (一社)大学女性協会国際ネットワーク委員長
- (一社)大学女性協会静岡支部長
- 内閣府男女共同参画推進連携会議議員
- 上和田町内会相談役

お知らせ

◆市内各地で「山下いづみと語る会」を開催します。市政の話や集まった皆様との交流を通して、まちをよりよくしていきたいと思います。少人数も大歓迎です。ご連絡ください。

◆ホームページ、フェイスブック、インスタグラムでも情報発信をしています。ご覧ください。

◆母校の吉原高校新聞部の取材を受けて、「吉原高列伝　第26回」に掲載されました。懐かしの高校時代の写真付きです。

（第270号、2019年10月31日）

Vol.19発行　山下いづみ後援会　2020年春号
〒417-0001 静岡県富士市今泉8−13−11　Tel&Fax　0545-53-2458
E-mail　iyamashita64@cpost.plala.or.jp
ホームページ：http://www.izumi-yamashita.net/

討議資料